

旧Businessプランから 新プランへの変更について

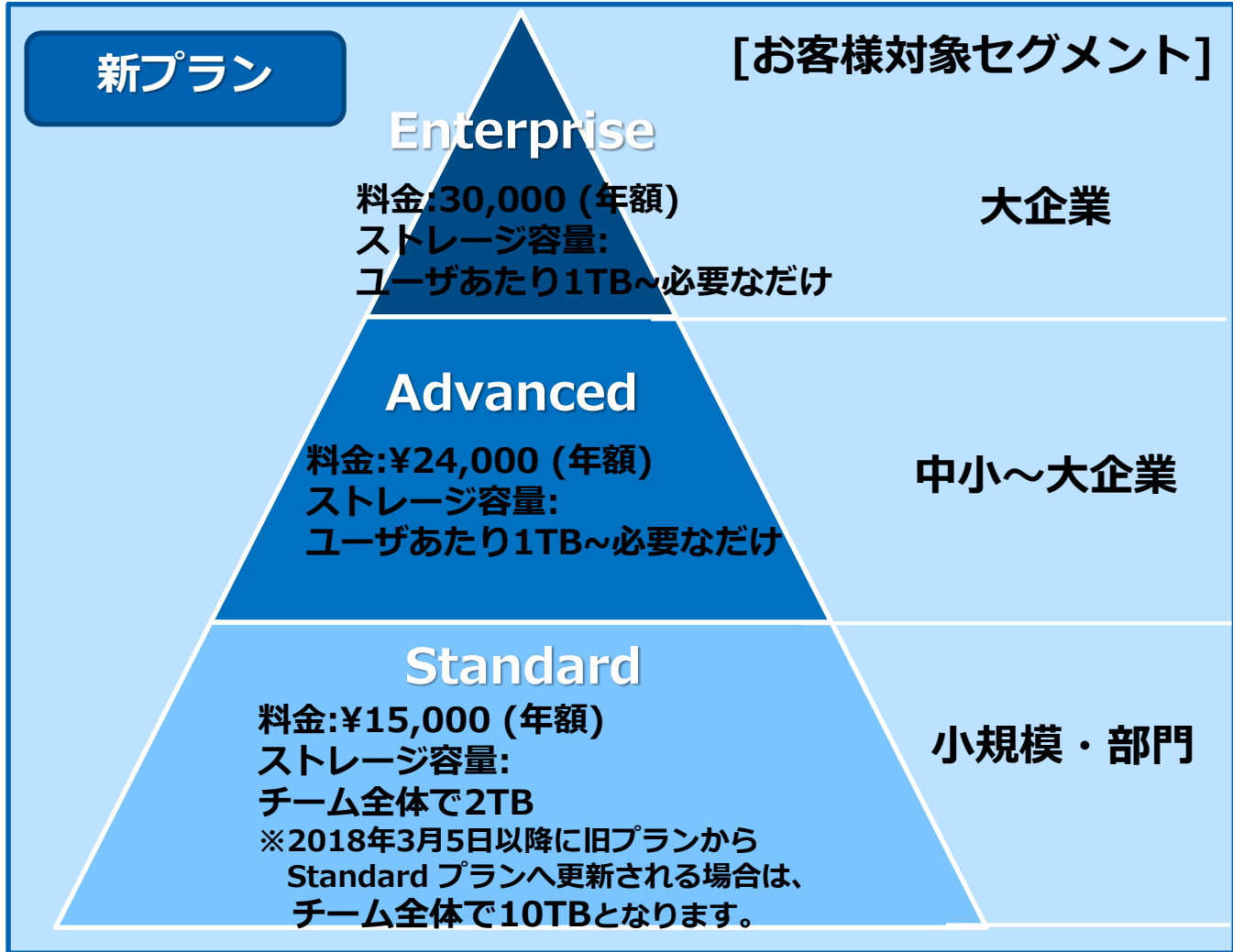
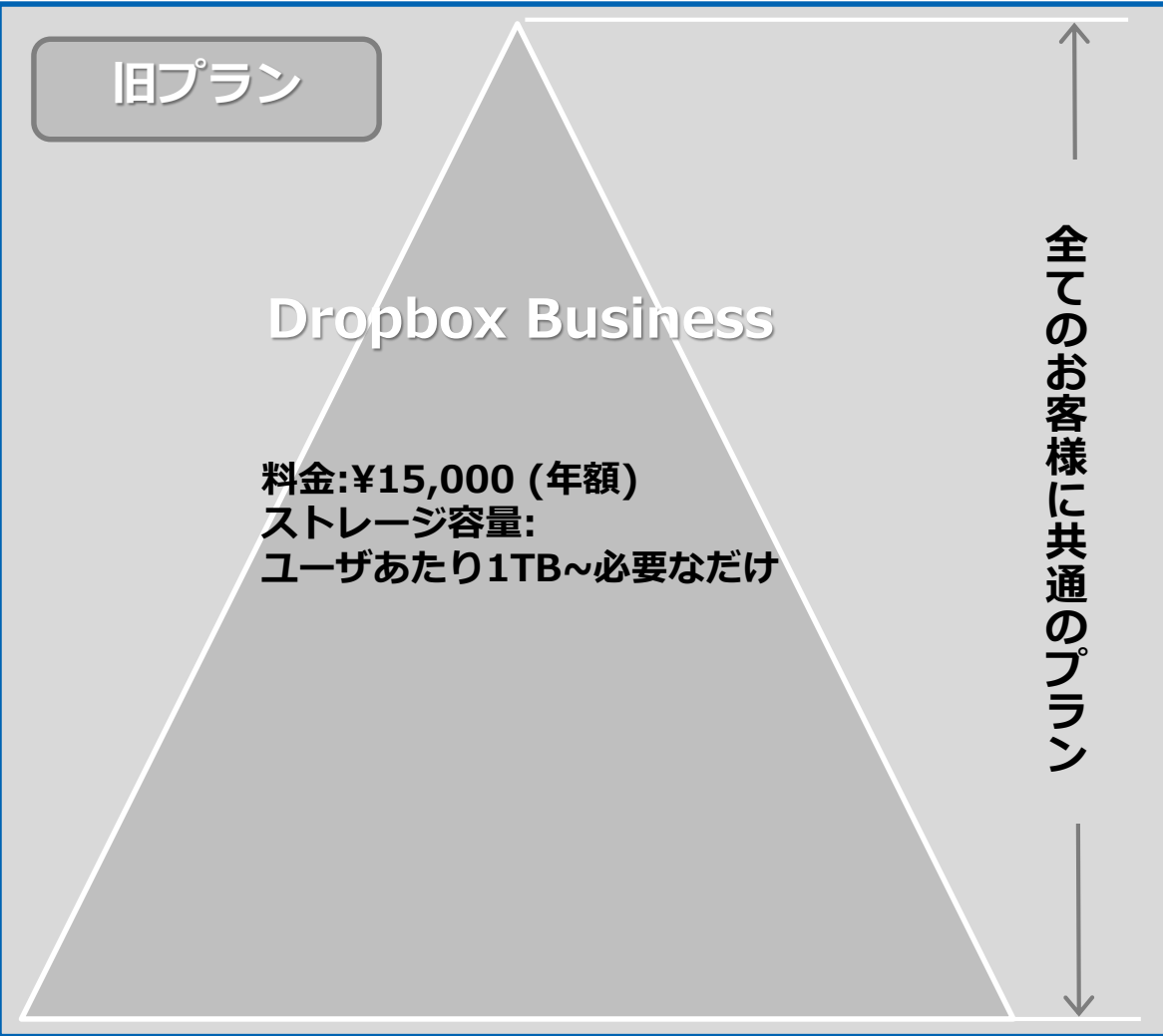
ソフトバンク コマース&サービス株式会社
ICT事業本部 MD本部 ビジネスソフトウェア統括部
BSW ビジネス企画室
更新日：2018年2月26日

 SoftBank C&S

1. ご案内と背景
2. 新プラン(Standard/Advanced/Enterprise)について
3. 旧Businessプランをご契約中のお客様へのお願い
4. 申請方法
5. 契約の自動更新について
6. FAQ
7. お問い合わせ先

1. ご案内と背景

Dropbox Businessは、2013年から1プランで提供を行ってきましたが、2017年2月1日よりプラン変更が行われ、新プランでは、「Standard」, 「Advanced」, 「Enterprise」の3種類からご選択いただけます。



今回のご案内の背景は、下記に記載の通りです。

- サービスの提供開始後、毎年改良を重ね、データの保管場所という使い方だけでなく、ファイルを中心にチーム間のコミュニケーションを活性化するための機能を追加してきました。
- 2017年にはスマートシンクやPaper、チームフォルダといった革新的な新機能や多くの管理機能が実装されたため、お客様のセグメントごとにご提案しやすいようにBusinessプランの細分化が行われました。
- 2017年2月のプラン変更のタイミングでは、既存のお客様への暫定対応としまして、旧Businessプランにも新機能を提供し、2018年に更新を迎えるタイミングにて新プランを選択していただくこととなりました。

2. 新プラン(Standard/Advanced/Enterprise)について

旧Businessプランとの機能の違いは下記の通りです。

旧Businessプランと同等のプランは「Advanced」となります。

	旧Businessプラン	Standard	Advanced	Enterprise
ストレージ容量	制限なし (必要なだけ追加)	2TB (チームあたり) (※1)	制限なし (必要なだけ追加)	制限なし (必要なだけ追加)
スマート シンク、チームフォルダ、Paper	○	○	○	○
バージョン管理の保有期限(*2)	無制限	120日	120日	120日
管理者権限	3種類 チーム管理者、ユーザ管理者、サポート管理者	1種類 チーム管理者	3種類 チーム管理者、ユーザ管理者、サポート管理者	3種類 チーム管理者、ユーザ管理者、サポート管理者
ログ管理	200以上のイベントログ +24種類のファイル単位のログ	200以上のイベントログ	Standardプラン +24種類のファイル単位のログ	Standardプラン +24種類のファイル単位のログ
デバイス管理	リモートワイプ、接続API管理、デバイス承認	リモートワイプ、接続API管理	+デバイス承認	+EMM連携
その他の管理機能	代理ログイン	-	代理ログイン	+個人のDropboxへのアクセス制限
ドメイン管理 (個人のDropboxからBusinessへの移行を促す機能)	移行指示 (招待状での個人版Dropboxユーザへの移行指示)	企業ドメインの管理は不可 (個人版Dropboxの利用は可能)	移行指示 (招待状での個人版Dropboxユーザへの移行指示)	+ドメインキャプチャ (ドメイン内すべての個人版Dropboxユーザへ移行指示)
サードパーティ製品連携	無制限のSIEM, DLP, IDM, DRM等API連携 +シングルサインオン連携	無制限のSIEM, DLP, IDM, DRM等API連携	+シングルサインオン連携	+シングルサインオン連携
API連携でのデータ転送(*3)	制限なし	25,000コール/月	25,000コール/月(*4)	25,000コール/月(*4)

*1 2018年3月5日以降に旧プランからStandardプランへ更新される場合は、**チーム全体で10TB**となります。
 *2 2017年2月~2017年4月30日までに、旧Businessプランの管理コンソールでバージョン管理の無制限を選択されたお客様は無制限の状態が継続される予定です。
 *3 Dropbox デスクトップ アプリケーションやブラウザ経由でのファイル転送は「API連携」とは異なります。コール数の制限はありません
 *4 25,000コール/月を超える、サードパーティー製品のAPI連携でのデータ転送が必要な案件には 別のServer Integration プランのご用意があります。

2. 新プラン(Standard/Advanced/Enterprise)について

旧Businessプランとの価格・最低購入ライセンス数の違いなどは下記の通りです。

	旧Businessプラン	Standard	Advanced	Enterprise
価格(1ライセンス、年額)	15,000円	15,000円	24,000円	30,000円
最少契約数	3	3	3	100
教育機関向け(※1)、 非営利団体向け割引(※2)	あり	あり	あり	なし
ライセンス期間	12ヶ月	利用開始日より365日	利用開始日より365日	利用開始日より365日
ライセンス追加	随時可能、価格は本契約満了日までの日数計算	随時可能、価格は本契約満了日までの日数計算	随時可能、価格は本契約満了日までの日数計算	随時可能、価格は本契約満了日までの日数計算
ライセンス減数	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可
エディションアップグレード	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可
エディションダウングレード	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可	契約更新日のみ可

3. 旧Businessプランをご契約中のお客様へのお願い

2018年3月5日以降の契約更新のタイミング(*1)で新プランのご選択をお願い致します。

基本的には「Dropbox Business Standard」か「Dropbox Business Advanced」のどちらかのご選択となります。

※ご契約ライセンス数が「100」以上の場合は、「Dropbox Enterprise」もご選択いただけます。

また、旧Businessプランで容量の追加を行っていた場合は、

「Dropbox Business Advanced」をご選択いただくと追加容量分も引き継ぐことができます。

*1 弊社経由での旧プランのご契約はすべて各月1日更新のため、実質的には2018年4月1日以降に新プランへ切り替えとなります。

【参考】 Standardプランをご選択いただいた場合の容量について

2018年3月5日以降(*1)に旧プランからStandardプランへ更新を行った場合、

「**Dropbox Business Standard**」の容量は**チーム全体で10TB**となります。

※Standardプランを新規購入を行った場合、容量は**チーム全体で2TB**です。

*1 弊社経由での旧プランのご契約はすべて各月1日更新のため、実質的には2018年4月1日以降にStandardプランへ切り替えとなります。

【参考】2017年2月にDropboxから配信されたメール

2017年2月にDropbox社より管理者様宛に「**Dropbox Business プランの変更に
関する重要なお知らせ**」という件名で以下のメールが配信されております。



お客様各位（*先にお送りしたメールの宛名に不備がございましたため再送いたします）

平素より Dropbox Business をご利用いただき誠にありがとうございます。この度、ご利用いただいているプラン内容が変更されることとなりましたので、お客様の Dropbox の販売会社に代わりましてお知らせいたします。

Dropbox Business の変更点

現在ご利用いただいている Dropbox Business プランに代わって、新たに3つのプランがリリースされます。それぞれ機能やストレージが異なりますので、お客様のニーズに合わせてお選びいただけます。

- **Standard** — 共有ツールと共同作業ツール、2 TB のストレージが含まれています。
- **Advanced** : 高度な管理ツール、監査ツール、ドメイン管理ツールをご利用いただけるほか、必要に応じて容量を追加できます。こちらが現在ご利用のプランに最も近い機能を備えています。
- **Enterprise** — 組織の規模に合わせて拡張が可能なソリューションで、カスタム サポートを備えています。必要に応じて容量を追加できます。

新しいプラン、料金、購入オプションについては Dropbox の [よくある質問](#) をご覧になった上でセールス担当にお問い合わせください。

変更の適用日について

日頃より Dropbox をご愛顧いただいているお客様は、本日より 2018 年の更新日まで Advanced プランのさまざまな新機能をご利用いただけます。デバイスの承認、権限の詳細設定、チーム フォルダ マネージャーなど新しい管理ツールを 2018 年の更新日までご利用いただくことができます。2018 年の更新日になると、Advanced 以外のプランに変更しない限り、現在のプラン料金より高い Advanced プランで更新されます。最新の料金表や購入オプションについてはセールス担当にお問い合わせください。

Dropbox Business の価格は 2018 年にこの変更により値上げされます。お客様のプランや価格への影響につきましては、セールス担当にお問い合わせください。

新プランのメリット

Dropbox Business の機能をさらに充実させた新しいプランなら、チームの生産性、共同作業の効率、セキュリティのさらなる向上を実現できます。3つのプランすべてで [スマートシンク](#)、[Dropbox Paper](#)、[デザインを一新したウェブサイト](#) など、最新のエンドユーザー向けサービスや機能をご利用いただけます。

新しいプランでは [バージョン履歴と削除したファイルの復元期間が 120 日間](#) となりますが、すでに Dropbox をご利用いただいているお客様は、2017 年 4 月 30 日までに [お申し込み](#) いただいた場合、無制限のバージョン履歴と削除したファイルの復元機能を引き続きご利用いただけます。

2018 年の更新日前に、新しいプランに関する詳細を再度お知らせいたします。今回の変更に関してご質問などがございましたら、Dropbox の [よくある質問](#) をご覧いただくか、セールス担当にお問い合わせください。

今後とも何卒よろしくお申し上げます。

Dropbox パートナー チーム一同

ご契約更新時に、「Dropbox Business Standard」または「Dropbox Business Advanced」の申請書をご提出していただきます。

<注意点>

- 旧Businessプランから「Dropbox Business Standard」にプラン変更を行った場合、ストレージの**利用容量が10TBを超過**している場合は、**同期が停止し、データの新規アップロードや更新が不可**となります。**容量の追加も不可**となりますので、ご注意ください。
※不要データの整理を行っていただき、容量に空きを作ることで同期が再開します。

5. 契約の自動更新について

2017年2月2日発行分より、翌年の更新は**自動更新**としております。

<自動更新の仕組み>



<自動更新に変更の理由>

1. 連絡不備などで想定外のサービス終了となり、更新日の翌日にお問合わせいただくケースが発生したため。
2. 現在90%を超える更新のお申し込みをいただいております、更新申請のための手間を省くことができるため。

5. 契約の自動更新について

前項の通り、今回ご選択いただいたプランについて、1年後に更新が行われる際に**自動更新が適用**されます。

自動更新となりますので申請書はご不要となりますが、更新日前に更新のご注文を販売店様にお願いいたします。

1年後に**更新を希望されない**お客様は「**解約申請書**」を事前にご提出いただくことで、更新日に契約終了となります。

Businessプラン解約後、各アカウントは**Dropbox個人版(Basic)**に**ダウングレード**されます。保存容量の上限は**2GB**となり、2GB以上のデータがある場合は閲覧・ダウンロードのみ可能となります。

※新規アップロードや更新を行いたい場合は、不要データを削除し、容量を空ける必要があります。

Q1. プラン変更を行うと、現行のDropboxの設定やデータはどうなりますか？

Q2. 更新時にユーザー側で必要な作業はありますか？

Q3. 旧BusinessプランからStandardプランに移行する場合の注意事項はありますか？

Q4. Dropboxからメール案内は行われますか？

A1. 設定やデータには一切変更はありません。

A2. 基本的には不要です。
ただし、旧Businessプランで10TB以上のデータを保存し、更新時にStandardプランを選択されるお客様は、移行するとデータ量が上限に達します。
そのため更新時まで10TB以下まで容量を削減していただく必要があります。

A3. 上記A2で記載事項の他、SSO連携が利用不可となります。そのため、SSO連携の利用を継続したい場合は、Advancedプランの選択をご検討ください。

A4. Dropboxからの案内はありません。



7. お問い合わせ先

契約に関するご質問は、ご購入いただいた販売店様経由でお問い合わせください。
直接のお問い合わせが必要な場合は、下記の窓口へお願いします。

<Dropbox お手続き窓口>

SBBMB-order_dropbox@g.softbank.co.jp

End of File